

「水産高校実習船の連携」 (H16. 10～)

【幹事】 福岡県教育庁高校教育課

【参加県】 福岡県、長崎県、山口県

目的

多様化する水産教育の充実や、財政面での効率的かつ効果的な運航を目指し、県域を越えた連携により実習船の共同運航を行う。

取組内容・成果

実習船「海友丸」平成22年度共同運航開始

<共同運航までの経過>

- 平成16年10月 第124回九州地方知事会議で、政策連合による取組開始を決定
- 平成21年10月 福岡県・長崎県・山口県の3県による実習船の建造、共同運航の基本的事項の合意
建造開始
- 平成22年 4月 実習船竣工式

実習船「海友丸」

- ・ 総トン数：698トン
- ・ 最大搭載人員：90名
- ・ 総建造費：約17億2,400万円



出港式



Hawaii での交流



韓国 での交流

【実習生の声】

- 船員としての基礎や心構え、自然環境の偉大さと恵みを感じることができた。この経験を活かし、日本の水産、海洋界に十分貢献できる人間になりたい。
- ハワイの地元高校との交流では、ハワイの文化の素晴らしさを味わうことができた。国際化に対応できる人間になりたい。

- 教育内容の共有により、漁業実習(長期マグロ延縄、イカ釣り)や、国際交流(韓国・ハワイ)の充実が図られました。
- 財政面では、福岡県、長崎県、山口県の3県はいずれも、実習船の運航経費は平成21年度の約半分に節減できました。

今後の課題・取組

<課題>

- 建造した実習船のより効率的かつ効果的な運航に向け、継続的に3県で検討していく必要がある。
- 3県での共同運航の実績・効果を、九州各県にフィードバックしていく必要がある。

<今後の取組>

より効果的で安全な運航に向け、実習内容の改善や緊急対応マニュアルの充実等について、長期航海ごとの報告会における様々な情報を収集・分析した上で、3県連絡調整会の場で引き続き検討を行う。